

平成 16 年度 第 2 回理事会議事録

期 日 平成 17 年 2 月 5 日 (土) 14:00 ~ 17:00

場 所 (株)開発工営社会議室

出席数 理事 24 名の内、出席 18 名、欠席 6 名

議 事

1 . 平成 16 年度各委員会活動報告

1.1 強化委員会

(成年北海道代表)

- ・ 第 41 回東日本都道府県大会予選会は、平成 16 年 4 月 10・11 日に宮城県名取市で行われ、岩手県代表と対戦し 46 - 31 で勝利を収め決定戦進出。
- ・ 第 41 回東日本都道府県大会予選会代表決定戦は、平成 16 年 4 月 19・20 日に宮城県石巻市で行われ、秋田県代表と対戦し 15 - 28 で敗れ第 1 代表になれず、第 2 代表決定戦へ。第 2 代表戦は、岩手県を 44 - 12 で破り、本大会に駒を進める。
- ・ 第 41 回東日本都道府県大会は、平成 16 年 5 月 1~4 日に新潟県新潟市で行われ、神奈川県代表と対戦し 15 - 56 で敗れる。敗者戦では秋田県代表と対戦し 5 - 53 で敗れる。成果としては、本大会に出場できたこと、関東のチームと試合が出来たことが挙げられる。
- ・ 代表強化合宿を、6 月札幌・8 月北見・10 月江別で行った。
- ・ 国体は、10 月 22~27 日に埼玉県熊谷市で行われ、1 回戦がシードで、2 回戦福岡県代表と対戦し 0 - 41 で敗れる。順位戦は宮城県代表と戦い 15 - 55 で敗れ 7 位となる。

1.2 コーチソサエティ

- ・ A 級中央トップコーチ招聘研修会は、日本協会から 2 名の講師を招聘し 5 月 29・30 日に月寒ラグビー場で 38 名の参加により実施した。
- ・ スタートコーチ養成講習会は、北海道協会から日本協会公認講師 2 名によって帯広で 47 名の参加者により実施した。
- ・ セブンスラグビー指導者講習会は、日本協会から 1 名の講師を招聘し北見で 28 名の参加者により実施した。
- ・ 普及育成委員会、強化委員会との連携した各種事業を起こす必要がある。
- ・ コーチ研鑽も含めたコーチ派遣体制の確立を図って行きたい。

1.3 レフリーソサエティ

- ・ B 級公認レフリー認定講習会への参加者は多くなってきているが、まだまだ多くしたい。各支部には B 級候補者推薦など積極的な取組みをお願いしたい。
- ・ 北海道選手権大会のグラウンドをブロックで割り振りすることは、レフリーの割付が困難になっている。
- ・ C 級公認レフリーの積極的な参加を促す。

1.3 競技委員会

(北海道選手権大会)

- ・ 今年、夕張グラウンドが3面しか使えなかったことから、苫小牧支部の協力を得て出光興産グラウンドを使用した。
- ・ 上位ブロックチームから競技時間正規化の要望があることから、上位ブロックから40分、35分、30分ハーフ等とすることの検討をして行きたい。
- ・ 参加チームの減少対策というだけでなく、普及という側面からもオーバー35のブロックを検討したい。
- ・ タッチジャッジを資格者(C級レフリー)でやってほしいとの要望がある。
- ・ 今年の大会日程は、教員採用試験が7月第1週であることから、7月第2週に実施した。選手のコンディション管理上、土・日・日の2週実施の要望が出されたが、7月第2週から第3週にかけて行うことになると、他の大会とのスケジュール調整が厳しくなる。大会日程については、レフリーソサエティなど関係者との検討により4月までに決定したい。

1.5 高校委員会

- ・ 第4回北海道高等学校強化講習会は普及指導講習会と合わせて、3名の指導者を招聘し5月1~3日に津別町で15校139名の参加者により実施した。
- ・ 第59回国民体育大会北海道予戦会(少年の部)ラグビーフットボール競技を、6月12~15日に帯広の森ラグビー場で39校編成チームにより実施した。同時に、日本協会ユースチーフコーチを招聘して指導者の実技講習・研修会を実施した。各支部とも計画的に国体チームの強化を図るようになってレベルを上げている。
- ・ 第14回北海道高等学校1年生U16ラグビーフットボール大会を、8月11~13日に北見市若松河川敷ラグビー場で45校77名の参加者により実施した。各支部とも1年生の強化を図り競技力の向上になっている。
- ・ 第57回北海道ラグビーフットボール南北選手権大会兼第84回全国高等学校ラグビーフットボール大会北海道予戦会を9月28~10月2日に美幌町柏ヶ丘公園陸上競技場と旭公園ラグビー場で行った。テレビ中継実現の努力をしたい。
- ・ 第7回セブンスラグビーフットボール選手権大会を10月15~17日に札幌月寒ラグビー場で16校105名の参加者により実施した。全国大会につながっており励みになっているので続けたい。

1.6 高専委員会

- ・ 第35回全国高等専門学校ラグビーフットボール大会北海道予選会兼第40回北海道地区国立工業高等専門学校体育大会ラグビーフットボール競技会全国大会を10月9日に旭川市で行い、函館高専と旭川高専が出場権をかけて戦い88-7で函館高専が勝利した。
- ・ 第35回全国高等専門学校ラグビーフットボール大会は、平成17年1月4~9日神戸市で行われ、函館高専は決勝戦まで駒を進め神戸高専に15-53で惜しくも敗れた。

1.7 大学委員会

- ・ 北海道地区ラグビーフットボール学生連盟強化講習会を5月14・15日に夕張市で各分野の講師を招いて11チーム49名の参加者により実施した。講習会は、レベルアップとレフリー養成を目的とし、練習方法の理解、メディカル、テーピング、ラックプレーとレフリーの実技などを行った。
- ・ 第6回北海道地区セブンズラグビーフットボール大会を7月24日に夕張市平和運動公園ラグビー場で14チーム140名に参加者により実施した。メンバー不足で休部しているチームの出場の機会となり、全国大会につながるためモチベーションが高まった。
- ・ 第34回北海道地区ラグビーフットボール選手権大会兼第12回全国大学選手権大会予選兼第55回全国地区対抗大学大会北海道予選会を9月19日～10月31日に野幌運動公園ラグビー場を始め各地区会場で25チームの参加により実施した。

1.8 社会人・クラブ委員会

- ・ 第2回トップリーグチャレンジプレーオフ出場決定戦北海道予選会は、参加チームがなく実施しなかった。昨年は、予選会は行わずに東千歳自衛隊がプレーオフに出場しトップノース1位のNTT東北と戦い敗れた。来年度の厳しい状況になると考えられるが、社会人とクラブの枠組みの問題解決などにより打開したい。
- ・ 第1回東日本クラブリーグの2試合を9月26日と10月3日に月寒ラグビー場で行った。初めての開催であり運営上の問題が指摘された。

1.9 安全対策委員会

- ・ 有料試合を始め各種大会6大会に延べ21名のグラウンドクターを派遣した。
- ・ メディカルサポーター要請講習会を3地域で述べ142名の参加により実施した。
- ・ 全国安全対策委員長会議で委員会の改革の必要性について意見が出された。
- ・ レフリーソサエティ、強化委員会などと連携を深め組織全体で安全対策の充実を目指す。

1.10 ゴールデンオールディーズ委員会

- ・ 2試合の有料試合の運営参加を行った。参加した委員に会員証を発行した。
- ・ 大会運営の参加者が少ない状況にあることから、会議による意見交換、活動のアピールなどを行う必要がある。

1.11 広報委員会

- ・ 協会情報の一般社会及び加盟チームへの情報発信。ホームページによる有料試合、大会に係る情報発信。ポスター、プログラム作成による広報活動などを行った。
- ・ 課題としては、ホームページ以外でもイベント情報を発信する手段の検討を行う必要がある。

1.12 普及育成委員会

- ・ ミニ・Jr指導者講習会を6月14・15日にNTTセミナーセンターと尚志学園グラウンドで各地区スクール代表・中学校代表22名の参加者により実施した。各地区の活動内容が把握できた。

- ・ 北海道中学生強化合宿を6月26・27日に月寒ラグビー場で中学2、3年生を対象として実施した。
- ・ 第3回北海道ミニ・Jr指導者研修会を10月2・3日に函館根崎ラグビー場で40名の参加者で実施した。3回目の開催ということで指導員の意識が高まっている。
- ・ 第24回東日本ラグビースクール中学生大会は、平成17年1月4～6日に東京アミノバイタル球技場で行われ、北海道スクール選抜は新潟スクール選抜に10-51、長野スクール選抜に5-53で敗れた。全国との差は縮まってきているが、一方で参加者負担軽減、選抜方法の検討が必要である。
- ・ 第2回北海道タグラグビー大会は、平成17年3月12・13日に札幌東豊高校で実施予定。

質問・意見

(北海道選手権大会)

- ・ 今回の大会は、7月第2週の開催となったがレフリーは高校が学校祭で確保できなかった。
- ・ 1試合1レフリーという要望がある。
- ・ グラウンドをブロックで割り振りする方法では、レフリーの割付が困難になっている。
- ・ 参加チームを増やすためには、下位チームの帯同レフリー、ジャージーなどを柔軟に考える必要がある。
- ・ 7月第1週からの日程で行ってほしいとの要望があるが、教員採用試験があることから問題となる。
- ・ 日程、グラウンド割付、帯同レフリーなどの問題に対しては、北海道選手権大会のあり方から検討し細部に広げていく方法で検討したい。

次回の理事会までにレフリーソサエティ、競技委員会などの意見をまとめること。

2. 平成16年度会計中間報告

- ・ 平成16年度のチーム登録数は、175チーム4,942名(登録料対象は161チーム)でチーム数・人数とも減少している。
- ・ 傷害見舞金の請求手続きにおいて、傷害報告書(見舞金請求書)及び傷害診断書の提出期限切れが発生している。各支部を通じて各チームへ指導を行う。
- ・ 会計担当者から、有料試合の収支決算について説明あり。
- ・ 平成16年度事業決算の未整理については、2月20日までに会計理事まで提出すること。

3. 各委員会事業計画について

- ・ 各委員長から事業計画・実施申請について説明があった。
- ・ 庶務担当理事から、各委員会の事業計画(案)の取りまとめ資料、事業計画日程

- (案)資料について説明があった。
- ・ 各委員会活動計画の締め切りは過ぎたが、各委員会との調整などで変更がある場合は早急に庶務担当理事に再提出すること。
 - ・ 各委員会の事業計画・実施申請については、協会三役の検討により決定したい。
協会三役一任
 - ・ コーチソサエティから、平成 17 年度からコーチ資格制度の変更について説明がある。今後はコーチ資格の義務化となることが予想されスタートコーチが基礎資格となることからスタートコーチ養成講習会が重要になる。各支部で積極的に要請してほしい。
各支部で参加者をまとめ委員長に提出すること。
 - ・ 高校委員会から、第 13 回日・韓・中 Jr 交流競技大会（北海道大会）が 8 月 23～29 日に札幌市で実施する予定であることが報告された。
 - ・ 理事長から、高校選抜の方法について検討してほしいとの要請があった。

4. その他

4.1 大学委員会からの要望事項について

- ・ 月寒ラグビー場の使用に関して、ジュニア・高校・大学・社会人・クラブそれぞれの重要な大会について使用を保障してほしい。
窓口を一元化し、年間スケジュールを早期に調整・決定する。
- ・ 大学委員会主幹事業の試合のレフリーに交通費を支給したい。
支給しないものとする。
- ・ レフリー養成などで、大学関係者以外のレフリーの協力を得ており、特に協力をお願いをしているレフリーを大学委員会委員として登録したい。
レフリーソサエティの大学担当として機能していることから登録の必要はない。
- ・ 平成 16 年度ベスト 15 及び優秀選手について承認された。

4.2 ラグビースクールの登録料について

- ・ サッカー協会などでは、登録料を徴収しているが、ラグビー協会でも集めた方がよいのではないかと意見があった。
- ・ スクール関係者からは、個人負担が多い現状であり軽減してほしいとの要望もあり、登録料徴収はしてほしくないとの意見があった。
登録料徴収は時期尚早であり、今後の課題とする。

4.3 その他

- ・ 高校生委員会から、高校生クラブチームの公式戦への出場に関して、日本協会機関紙「ラグビーフットボール」No314 号掲載の記事について事実関係の説明があった。
記事については、事実の誤認に基づく記載がある。
- ・ 普及育成委員会から、平成 17 年 3 月 19・20 日に水戸ツインフィールドで行われる第 2 回東日本 U15 中学生大会の出場提案があった。

各支部の選考体制、出場者の学校許可、出場希望者の確保などを考えると
申込み期限に間に合わない危険性があることなどから今回は参加しない
ことを決定。

- ・ 高校生委員会から、国体選抜選手 22 名を優秀選手とすることについて了承された。
- ・ 第 3 回理事会の日程を、3 月 26 日（土）14:00 開催することに決定した。